



日本マスターズ柔道

2008年1月15日
JMJA-News 第6号

日本マスターズ柔道協会

〒157-0063

東京都世田谷区粕谷3-30-1

電話03(3326)3333 FAX(3305)7301

発行 会長 野口宏水

ホームページ

<http://jamja.hp.infoseek.co.jp/>

嘉納師範の故里で 大いに盛り上がりました

第四回兵庫大会を振り返って

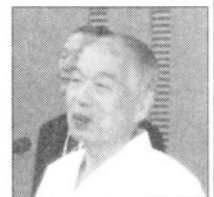
会長 野口宏水

あけまして おめでとうございませう。本年も皆様にとりまして、柔道を通じ、良い年となりますよう お祈り申し上げます。



大会2日目の開会式 都道府県のプラカードも高らかに（兵庫県立武道館）

さて、昨年10月19日



より21日までの3日間、北は北海道 南は九州、遠くはアメリカ、ニュージーランドより、更に形の部ではラオスよりの特別参加もあり、年令も30才より83才の、顔のシワは殖えても心は若々しいマスターズ柔道家がその参加者400名、延べ600名を超えて、柔道の始祖 嘉納師範ご生誕の地兵庫県は県立武道館（姫路）に参集 第四回日本マスターズ柔道選手権大会を開催した。

案内発信から申込受付け 組合せ 計量 審査 審判 記録：大会全般を兵庫県柔道連盟（貴島徹会長）が鮮やかに見事に滞りなく運営して戴いて本当に大助かりでした。

大会初日 形の部では 清家春夫選手が代表宣誓を行った。清家選手は当協会副会長であり、国内マスターズ大会のみならず世界大会にもいつも令夫人同伴で参加されている。本年6月の第9回ブラジルサンパウロ大会にも夫人観戦の前で毛利修理事と組んで

五の形で金、清水正敏副会長と組んで古式の形で金、更に試合の部でもM8・81kgで金とそれぞれ世界を制した。元警視正の宣誓は堂々として力があり且つ聴く者をして説得させられる響きがこもっていた。2日目は、年代別体重個人戦。試合場は国体と同じオートメーションで一段高く、しかも周囲は紅白の横幕が設けられている。

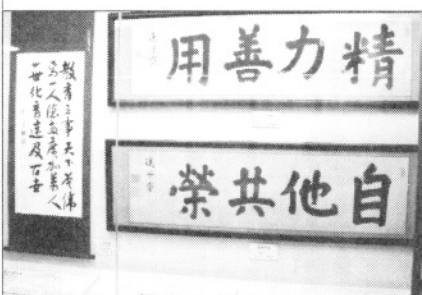
開会式での選手宣誓は 第一回浜北大大会より出場、8月の世界サンパウロ大会にも出場、M9・60kgにてシルバームダリストとなられたご当地兵庫柔道連盟顧問の岡田庫二郎八段。

中日夜は日航ホテルの大ホールにて150名を超えるマスターズの友情交歓の懇親会で盛り上がる。最後には第四回開催地兵庫より第五回秋田へと、マスターズ大会旗が貴島兵庫連盟会長より日本マスターズ協会会長を経て今立秋田県代表当協会理事へと引継ぎ受け渡された。

最終日の代表宣誓は 兵庫県のM7・60kg 大矢八平当協会常務理事。柔能く剛を制すの通り同体重のみならず、より重量に対しても臆せず立ち向かい勝へ向って行き、減法強い。柔道着を脱ぎ普段着に戻ると、いつもニコニコ、整骨院も大繁盛だろう。以って範とすべき仁であり材である。実績に裏付けされた説得力が宣誓にある。

年を追う毎に、回を重ねる毎に大会の量・質共に充実して行くのは嬉しい。

また、大会を始めて4年になるが、試合で一度も大きな事故や怪我がないのは有難いことである。出場に備えて十分に稽古を重ねて自分自身はもとより、相手にも充分思い遣りの心を以って相対しているからであり、また自分が怪我をしては普段指導している後進に恥かしい。ともあれ事故がないのは有難いことである。



嘉納師範が揮毫された3つの額（兵庫県立武道館内の歴史コーナー）

り、いつまでもこのように無事故であって欲しいものである。

大会の結果は後記の通り。

第四回大会のメダリスト

形の部

投の形

- ① 築山忠弘(大阪・芦田和典(大阪)
② 長崎桂子(石川・山元明男(富山)
③ 荒牟田一(兵庫・玉田誠(兵庫)

固の形

- ① 井上康彦(栃木・金子智郎(栃木)
② 三木義則(兵庫・吉田康宏(兵庫)
③ 永島健次郎(千葉・大矢秀昭(東京)

極の形

- ① 森下良男(静岡・高林祐介(静岡)
② 榎本好根(愛知・春日井和幸(愛知)
③ 石島勇(千葉・鈴木治雄(千葉)

柔の形

- ① 内藤純(栃木・杉原尚(茨城)
② 上野和香子(北海道・岡本敦子(北海道)
③ 加古和歌子(愛知・大宮民子(愛知)

護身術

- ① 保科素(埼玉・清家春夫(千葉)
② 大宮民子(愛知・加古若子(愛知)
③ 有田早苗(栃木・植木良夫(栃木)

五の形

- ① 藤本昌映(兵庫・中江裕二(兵庫)
② 大宮民子(愛知・今立篤子(秋田)
③ 大矢秀昭(東京・佐藤良吉(東京)

古式の形

- ① 保科素(埼玉・清家春夫(千葉)
② 佐藤良吉(東京・中込常昭(東京)
③ 今立篤子(秋田・長崎桂子(石川)

年齢別体重別個人戦

男子の部

- M1 (30〜34才) 60 kg下 ① 林健太郎
(埼玉) ② 寺居史朗(大阪) ③ 佐藤政美
(宮城)

- M1 66 kg下 ① 漆畑健(千葉) ② 中山
幸久(大阪) ③ 早川英一(愛知) 長岡剛
(埼玉)

- M1 73 kg下 ① 向井真(愛知) ② 山本
洋史(高知) ③ 佐藤真生(宮城) 岩本健
治(山口)

- M1 81 kg下 ① 榮大輔(兵庫) ② 田中
博幸(石川) ③ 吉本大輔(高知) 菅野隆
行(岩手)

- M1 90 kg下 ① 上園勇作(東京) ② 成
田福春(兵庫) ③ 前田直樹(兵庫)

- M1 100 kg下 ① 中野陽一(兵庫) ② 山
本勉(兵庫) ③ 三谷健(神奈川) 兼岡貴
志(香川)

- M1 100 kg超 ① 三木裕文(兵庫) ② 内
藤幸次(兵庫) ③ 高田智博(徳島)

- M2 (35〜39才) 60 kg下 ① 出口直人
(兵庫) ② 鈴木政明(茨城) ③ 福岡正志
(岡山)

- M2 66 kg下 ① 松本淳滋(賀) ② 中
津大資(徳島) ③ 佐波正巳(愛知)

- ② 藤原誠(兵庫) ③ 磯部正人(愛知) 杉
本幸弘(愛知)

- M2 81 kg下 ① 長谷川靖二郎(大阪)
② 曾我部晋哉(兵庫) ③ 笹谷繁(大阪)
上原貴士(愛知)

- M2 90 kg下 ① 壇上竜二(愛知) ②
岩田竜一(大阪) ③ 古川克二(滋賀)

- M2 100 kg下 ① 山本典実(愛知) ② 藤
本豪(岡山) ③ 坂本英司(愛知)

- M2 100 kg超 ① 松山尚浩(福岡)
② 尼田雅之(山口)

- M3 (40〜44才) 60 kg下 ① 高山郁生
(静岡) ② 小玉勉(兵庫) ③ 森田賢一
(静岡) 古屋元氣(神奈川)

- M3 66 kg下 ① 喜多康之(大阪) ②
片岡孝志(徳島) ③ 今嶋禄郎(大阪) 西
村直(岡山)

- M3 73 kg下 ① 猪谷昌平(兵庫)
② 原幸輝(愛知) ③ 澤村誠四郎(兵庫)
北條博嗣(高知)

- M3 81 kg下 ① 飯田俊(東京) ② 井
上喜雅(香川) ③ 田嶋弘(石川) 高木克
哉(愛知)

- M3 90 kg下 ① 佐藤博信(兵庫)
② 西脇孝一郎(大阪) ③ 森本正則(滋賀)
堀部寛(香川)

- M3 100 kg下 ① 藤本肇(兵庫) ② 原
口正秀(福岡) ③ 岸部俊一(山梨)

- M3 100 kg超 ① 窪田智之(愛知)
② 山崎伸之(兵庫)

- 森敏行(高知)

- M4 73 kg下 ①
上田一美(愛知)

- ② 安永伸一(兵
庫) ③ 中込常昭(東京) 西出大作(和歌
山)

- M4 81 kg ① 赤尾信行(山口) ② 小
池伸治(神奈川) ③ 国吉真登(神奈川)
金指邦浩(静岡)

- M4 90 kg下 ① 美濃達也(岡山)
② 中野真利(大阪) ③ 山田大二(東京)

- M4 100 kg下 ① 小池雅彦(埼玉)
② 平尾良彦(滋賀) ③ 高橋洋一(埼玉)

- M4 100 kg超 ① 木村忠彦(兵庫) ② 長
須賀明彦(神奈川)

- M5 (50〜54才) 60 kg下 ① 福岡幹雄
(神奈川) ② 北尾浩(兵庫)

- M5 66 kg下 ① 佐々木政彦(埼玉)
② 臼井安(兵庫) ③ 養父洋介(兵庫)

- M5 73 kg下 ① 平井敏雄(兵庫)
② 倉野祐一(岐阜) ③ 毛利一三(兵庫)
鈴木康敬(高知)

- M5 81 kg下 ① 平野相徳(和歌山)
② 眞松寛(東京) ③ 田所英幸(栃木)
中本啓二(兵庫)

- M5 90 kg下 ① 卜部秀幸(愛知)
② 鹿島利登(兵庫) ③ 大塚俊彦(埼玉)

- M5 100 kg下 ① 雑賀昌盛(兵庫)
② 西山壽由紀(香川) ③ 中川博文(兵庫)

- M6 (55〜59才) 60 kg下 ① 鍋浦正
(香川) ② 坂井路雄(兵庫) ③ 佐々木良
弘(兵庫)

- M6 66 kg下 ① 貝原道生(宮崎)

- M6 66 kg下 ① 高橋和裕(神奈川) ② 砂川利和(山
口) ③ 武田純(石川) 佐々木安廣(岩
手)

- M6 81 kg下 ① 吉成隆杜(東京)
② 太田明男(神奈川) ③ プライス・ソリアー
ナ(米国)

- M6 90 kg下 ① 神園修一(東京)
② 山本昭(兵庫) ③ 羽山明(千葉)

- M6 100 kg下 ① 遠藤和利(兵庫)
② 安立俊二(兵庫) ③ 足羽裕二(兵庫)

- M6 100 kg超 ① 久保雅昭(東京)
② 加藤忠勝(東京) ③ 三浦孝
司(奈良)

- M7 66 kg下 ① 増田洋(大阪)
② 芝辻誠(兵庫) ③ 柿田豊一(石川)

- M7 73 kg下 ① 島津澄夫(千葉)
② 五十嵐徳英(千葉) ③ 蘭徳美(大阪)

- M7 73 kg下 ① 島津澄夫(千葉)
② 五十嵐徳英(千葉) ③ 蘭徳美(大阪)

- M7 73 kg下 ① 島津澄夫(千葉)
② 五十嵐徳英(千葉) ③ 蘭徳美(大阪)

写真右: J R姫
路駅構内の歓迎
ポスター
写真下: 大会会
場受付風景



- 来田武(香川)
M 7 81 kg 下 ①諸山和美(愛知)
②三橋英夫(神奈川) ③清家春夫(千葉)
池田文宏(岡山)
M 7 90 kg 下 ①鷹尾健治(香川)
②江崎寛(千葉) ③池田正男(兵庫)
M 8 (65~69才) 60 kg 下 ①相田盛良(長崎) ②石黒金次(静岡) ③鬼柳一宇(岩手・永島健次郎(千葉)
M 8 66 kg 下 ①福富勝忠(長崎)
②仁木征輝(岡山) ③湊谷公富山・小河博(兵庫)
M 8 73 kg ①内藤純(栃木)
②小野澤昭雄(埼玉) ③福山忠雄(兵庫)
M 8 81 kg 下 ①大塚治城(神奈川)
②川上勝(岡山) ③西尾勝彦(奈良)
M 8 90 kg 下 ①今里宏一郎(東京)
②リックリトルウッド(NZ) ③大上敏行(東京)
M 9 (70~74才) 60 kg 下 ①杉原高(東京) ②岡田庫二郎(兵庫) ③小川栄一郎(千葉)
M 9 66 kg 下 ①山本健夫(東京)
②中政利夫(東京)
M 9 73 kg 下 ①野口宏水(東京)
M 9 81 kg 下 ①宮本隆(神奈川)
②岡田敏雄(宮城)
M 9 100 kg 下 ①奈良澄(愛知)
M 10 (75~79才) 66 kg 下 ①大矢秀昭(東京)
M 10 73 kg 下 ①高橋勘十(岩手)
②安河内浩(東京)
M 10 90 kg 下 ①森本唯行(神奈川)

- ②原田照夫(埼玉) ③バット・ナー(NZ)
M 11 (80才以上) 73 kg 下 ①美濃岡清三郎(兵庫) ②上島彬(大分)
M 11 90 kg 下 ①太田尚充(青森)
女子の部
F 1 52 kg 下 ①長壁円(愛知)
②西村めぐみ(兵庫)
F 1 57 kg 下 ①本田綾香(神奈川)
F 1 63 kg 下 ①吉野貴代子(神奈川)
F 1 78 kg 下 ①寺田裕美(神奈川)
F 2 48 kg 下 ①梅本智子(神奈川)
F 2 52 kg 下 ①三谷玲子(神奈川)
F 2 70 kg 下 ①古川雅子(滋賀)
F 2 78 kg 下 ①佐藤和美(岩手)
F 3 48 kg 下 ①山内久美(神奈川)
F 3 52 kg 下 ①田中彰子(兵庫)
F 3 63 kg 下 ①難波浩子(岡山)
F 6 63 kg 下 ①今立篤子(秋田)
F 7 57 kg 下 ①長崎桂子(石川)
年齢別体重無差別個人戦
M 1 ①内藤幸次(兵庫) ②漆畑健(千葉) ③山本洋史(高知・高越誠司(岡山)
M 2 ①松山尚浩(福岡) ②山根一人(岡山) ③田中清一(兵庫)・坂本英司(愛知)
M 3 ①佐藤博信(兵庫) ②喜多康之(大阪) ③西脇孝一郎(大阪)・西村一晃(滋賀)
M 4 ①赤尾信行(山口) ②高橋洋一(埼玉) ③小池雅彦(埼玉)・中込常昭(東京)

- M 5 ①茂木春喜(高知) ②大塚俊彦(埼玉) ③佐々木政彦(埼玉)・難波弘一(兵庫)
M 6 ①遠藤和利(兵庫) ②上木保男(千葉) ③吉成隆杜(東京)・足羽裕二(兵庫)
M 7 ①片桐清司(滋賀) ②五十嵐徳英(千葉) ③蘭徳美(大阪)・池田正男(兵庫)
M 8 ①今里宏一郎(東京) ②伊藤久雄(千葉) ③小嶋博美(愛知)・リックリトルウッド(NZ)
M 9 ①岡田敏雄(宮城) ②山本健夫(東京) ③岡田庫二郎(兵庫)・奈良澄(愛知)
M 10 ①高橋勘十(岩手) ②原田照夫(埼玉) ③森本唯行(神奈川)・バット・ナー(NZ)
M 11 ①太田尚充(青森) ②上島彬(大分)
F 2 ①古川雅子(滋賀)
F 3 ①田中彰子(兵庫)
F 6 ①芦田操(兵庫)
11月7日フジテレビ「生涯現役」で本大会を放映。これはそのひとコマ(M11の上島[左] 太田両選手)



11月7日フジテレビ「生涯現役」で本大会を放映。これはそのひとコマ(M11の上島[左] 太田両選手)

- 男子**
①柔錬会A(兵庫)・栗村曜似、中井司朗、新田豊、大矢八平、山本昭、難波昌盛、平尾良彦、竹谷俊幸、田中清一、池田征司)
団体戦
②丸の内柔道倶楽部A(東京)・森本唯行、山本建夫、今里宏一郎、大塚治城、三橋英夫、清家春夫、久保雅昭、中込常昭、鈴木政明、上園勇作)
③丸の内柔道倶楽部B(東京)・高橋勘十、野口宏水、清水正敬、伊藤久雄、五十嵐徳英、上木保男、一言力、東井克彰、松本淳、三谷健)
④東播磨柔道協会(兵庫)・×、×、宮崎公夫、渡辺初夫、安立俊二、×、藤本肇、井口泰成、澤田毅、村田秀人)
女子
①相洋柔友会(神奈川)・寺田裕美、吉



団体戦男子優勝の柔連会(兵庫県)の皆さん

地元の 会員の方から

一生の思い出の大会

大矢 八平

(兵庫県 常務理事)

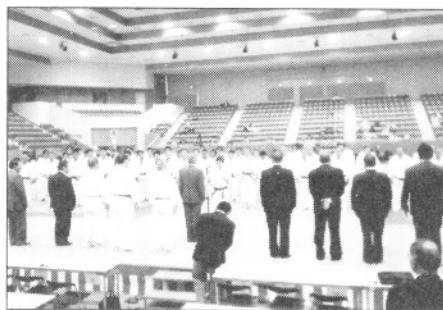
私とマスターズ柔道大会との出会いは、毎年四月に講道館で開催される高段者大会に出場した時のことです。講道館でお世話になった国学院大学の平沼正治先生に出会い、野口宏水会長に紹介して頂いたのがきっかけでした。野口会長から第五回世界マスターズ柔道大会が講道館で開催されることを聞きし、早速申し込み、出場しました。大会の受付が外国の方で言葉が通じず、通訳の方が来られるまで待っていました。国内において初めて言葉が通じないという初めての経験をしましたが、試合が始まればいつもの自分

野貴代子、本田綾香
②湘南レディース(神奈川)・難波浩子、三谷玲子、山内久美
③兵庫フェニックス兵庫(石角洋子、西村めぐみ、田中彰子)

に戻り偶然にも良い成績を修める事ができたことを嬉しく思いました。

その後、静岡県での第一回日本マスターズ柔道大会に出場し、第二回の埼玉県、第三回の岡山県での大会にも出場しました。

第四回は地元なので出場だけでなく、準備から受付そして救護と忙しい日々を過ごしました。三日目の最終日には選手宣誓をさせて頂き、私と



大会3日目選手宣誓する大矢選手

しては一生の思い出の大会となりました。地元で初めて開催された30歳から80歳以上からなる高段者大会以外の大きな大会なので、沢山の選手が出場して頂き、過去最高の動員数の大会に盛り上がりました。関係者各位の先生方に

は大変お世話になり有難うございました。この大会がより盛り上がりつつ5回、10回と記念大会が開催される事を期待しております。

オリンピックや世界柔道選手権大会はある一部の限られた若い選手しか出場出来ませんが、このマスターズ柔道大会は、年齢に関係なく自分の気持ちさえあれば何時までも出場可能です。一度出場した人はこの大会に、再度出場したいと願っているのが現状です。私も体力の続く限り、生涯現役で活躍したいと思えます。先生方のご協力により多くのマスターズ柔道ファンを全国に広めて貰いたいと思います。

試合以上のプレッシャー

山本 昭
(兵庫県 理事)



日本マスターズ柔道大会参加のきっかけは尊敬する、大矢接骨院長の大矢八平先生にマスターズ大会の参加を勧められたのがきっかけで

す。

第一回の静岡、世界マスターズカナダ大会を挟み第二回は埼玉県第三回岡山県と成績は金、銅、銀、金のメダルを頂くことが出来ましてマスターズ大会にはまっております。

第四回は 私自身の地元と言うことで指導している子供達や兵庫県柔道連盟の貴島会長、坂田理事長を始め諸先生方の前で試合をするので今回ほど緊張したことはありませんでした。さらに兵庫県柔道連盟の総務役員として全国から来姫される先生方に運営上の手際の無いようにと試合以上のプレッシャーを感じました。それだけ各開催県の先生方のご苦勞も理解出来たと思います。

日本マスターズ柔道協会のホームページでも紹介頂きましたが地元FMラジオの番組で多くの方に参加呼び掛けとマスターズ柔道協会のPRの甲斐があり約400名の最多出場者記録を達成致しました。又地元で参加した先生方も異口同音に高段者大会(一大会一試合)では味わえない凛とした緊張感があり勝敗に関係なく多くの方が楽しむことが出来たと

満足顔で話されていました。又、全国より集結され再会をした先生方からも立派な県立武道館もさることながら兵庫県柔道連盟の大会運営についても絶賛され過分の評価を頂き総務担当者として大矢先生共々ほっと安心と言うところでした。

19日の形試合に於いて私と大矢先生が所属する恵柔館道場から投の形で莞牟田、玉田選手が銅メダル。固の形で三木、吉田選手が銀メダルを獲得し幸先の良いスタートを切る事が出来ました。翌20日は

M6・60kgで坂井館長が銀メダル、M7・60kg大矢先生がすべて一本勝ちの金メダル。M5・66kg養父先生銅メダル。M1・90kg前田選手銅メダルと最後に私山本昭は千葉県上木先生と死闘激戦の末M6・90kgで銀メダルを頂くことが出来ました。又同じ道場の指導者が多数入賞した最高の一日でありました。

最終日の21日は団体戦で大矢八平選手兼監督率いる柔錬会Aが悲願の優勝を果たす事が出来ました。柔錬会Aチーム地元開催のプレッシャーをはじき飛ばした完勝であった

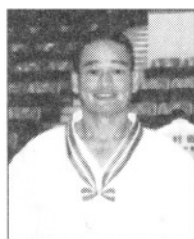
と思います。大会閉会後に柔錬会A、Bチーム合同の祝勝会の席上で第5回秋田大会は遠方では有りますが是非団体戦出場をしましょうと大矢、中村両監督の力強い決意発表があり大変盛り上がりました。

私自身第四回姫路大会が終了したのでは無く第五回秋田大会に向けて始まったのだと自分に言い聞かせ全国の先生と秋田での再会を目標に今日も切磋琢磨の稽古に励んでいます。

みなさんありがとう

ございました

平井 敏雄
(兵庫県 理事)



第四回姫路大会参加の先生がたお疲れさまでした。

地元開催で、重圧と多数の参戦で肉体的にも精神的にもまいました。苦しい時にご指導ご声援して頂いた先生を思い出して念願の優勝を果たすことができました。

フランス大会で心細かった

私に気軽に声をかけて下さった栗本先生。その大会で情けない試合をし、すぐ、すっ飛んできて『お前はそんなんで日本に帰る気か!』と全くの初対面にも関わらず叱咤して頂いた森本先生。ビックリしました。なにかとお世話になった笠原先生。ブラジルでは日程と日本つぶしに遭い疲れて全く動けませんでした。それでもいつも温かい声援を下さる清家夫妻。埼玉で偶然、電車の中で一緒になった『諦めたら終り』の来田先生。柔道魂注入、中込先生。そして、大会三日後最初の道場で気の抜けた私を尻目に『さあ今日から秋田や!』と汗を流されるマスターズの鏡、大矢、山本、坂井先生。みなさん本当にありがとうございます。ございました。

会員便り

第四回大会参戦記

今里宏一郎

(東京都 理事)

本大会は2年間のチリでの柔道指導をおえ4月に帰国し

た直後でした。日本食の美味だったことから、あつというまに6キロほど太ってしまっていたのです。81キロ以下級で出たかったのに90キロ以下級に格上げしなければなりません。出るからにはやはりメダルを狙うのが本望です。出場を断念するか減量を図るか行きつ戻りつの末は食事制限をするのはいや、現状の体重で思いっきり戦ってみようでした。

開催地姫路市も魅力です。世界遺産になった姫路城には一度は訪れてみたかったのです。また会場の県立武道館は市西南に位置する手柄山の一面にありまわりの緑にマッチして風格ある建物でした。4面をしつらえた試合場は広く明るくとても立派で大舞台に立った気分になれます。



今里選手(左)対リトルウッド選手

私のM8(65・69)・90Kgには6人がエントリーしていました。がさすがに皆つわものです。強い圧力を跳ね返して技を仕掛けてますが、通じません。なんとか効果ポイント奪って逃げ切りです。なかでもニュージランドのリトルウッド(写真)は長身と長い腕で寝技に持ち込み相手をしとめてきているのを何度も見ているので強敵です。彼の寝技をなんとかしのぎ得意の大内刈で応戦しますが決着がつかず旗判定。からくも2-1で勝利をものにしました。彼に勝てる自信がなかったのでうれしい優勝です。

3日目はM8体重無差別に挑戦です。どうせ体重オーバーになったのだからと対戦を楽ししむつもりでしたが、残念な事に棄権した人が多く、再度リトルウッドと合間見えることになりましたが、今度は彼が失点を重ね有効ポイントでしりぞけました。決定戦は我が丸の内クラブの同胞伊藤さんとのバトルです。軽量の相手私に分があるはずですが、お互い手の内を知り尽くした仲、決め手を欠いていたとき捨て身でかけた大内刈が技あ

りとなり勝敗を決しました。その後は年齢別10人による団体戦。丸の内クラブAチームの選手として団体戦を楽しみました。チームは決勝戦まできわどく勝ちあがったものの、粒を揃えた兵庫県チームに大差の敗北。しかしながら年齢を繰り下げての全員が健闘した結果の準優勝大いに盛り上がりました。3日間の闘いを通じて全国から参集してきた柔道家と交流でき来年も元気な姿で会えることを誓い合い満足した大会でした。

日本マスターズ大会に特別参加させていただいて

菊池 正敏

(千葉県 理事)

現在、私は東南アジアのラオス国にてJ A I C (国際協力機構)のシニアボランティアとして日々「日本柔道」の指導を行っています。今年12月にタイ国にて開催の「東南アジア競技大会」に於いて、「形競技(投げの形・柔の形)」が始まることになりました。そこで日本の先生方のもとでより高いレベルの研鑽をしたと思います、幸いに珍しくラオ

ス政府も選手達4人の往復旅費や食事代を負担してくれることになりましたので、9月下旬より一月半に及ぶ「日本遠征」を企画しました。

お蔭様で、主に講道館の指導員の先生方のご指導のもとで、月曜より土曜までの毎日7、8時間の指導稽古・反省反復練習により選手達はどんどんと上達し、「順序を間違える」とかのレベルは卒業しましたが、その次の「演武時に頭が真つ白くなる」という「場に慣れる」訓練が必要と考えました。

そこで、この遠征期間中に演武出来る場・参加できる大会をいろいろ思い浮かべ「当マスターズ大会」に申し込みの



菊池先生とラオスの4選手

打診をしましたところ、「年齢上の資格が十分でないので当然にメダルは辞退するが、一定の参加料を払う」ことにより「特別参加」させて頂きました。

さて、雨模様の演武当日ですが、初めての日本での長期合宿と遠距離旅行（前々日天理に寄り当日は朝5時起床にて姫路に入りました。）の精神的・肉体的疲れの為か、17才の女子選手が突然「腹痛」を起こしました。悪いことに、「柔の形」の演武はプログラムの最初です。とりあえず「養護室」にて年長の女子選手と一緒に寝させました。その結果、約1時間後様子を見に行きますと、既に自分から起き上がって「ダイ、ダイ、ボーペンニヤン」（ラオス語で「出来ませう、大丈夫です、心配いりません。」の意）というではありませんか。正直、ほっとしました。

お蔭様で、演武の方は日頃の稽古の成果がきちんと発揮され、「柔の形」は90点、また「投げの形」は89・8点という高得点を頂きました。私は、彼女達がこの体調の悪い中で十分に力を出してく

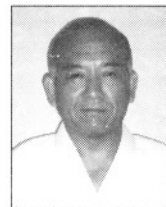
れたのは、どちらかというとラオス人には珍しく早朝トレーニングや夜の稽古を月曜より土曜まで日頃真面目にやっている子供達で、底力があつたからこそと確信しました。このことが、高得点を出した以上に嬉しいことでしたし、この大会に出させて頂いて本当に良かったと感謝しました。

因みに、この貴重な体験が生きたのでしよう、翌週に行われた「第1回講道館国際形選手権大会」においても実力以上の活躍をしてくれ、日本ペアーやヨーロッパペアーに続いて第5位を獲得出来ました。これは偏に皆様方のご指導ご配慮によるものと深く感謝申し上げます。そして、10数年後には、彼らも正式のマスターズ会員として参加し「メダル」を獲得してくればなんと夢見ております。

最後に余談ながら、選手達の頑張りには比して「アーチャン」（先生の意・私のこと）は減量の影響と稽古不足がもろに出まして、その試合の方は昨年の「シルバー」より今年は「無冠」となりまして、捲土重来を期すべく日々の精進を始めております。

私にとつての柔道

吉成 隆杜
（東京都 理事）



私が小学生だった頃、当時一番人気のあつた漫画は少年画報の赤胴鈴之助と冒険王のイガグリ君だった。この二人の主人公が当時の小学生に与えた影響力は計り知れないものがある。私もその一人で、剣道と柔道にはずっと憧れていたが、稽古するチャンスが訪れたのは中学2年の時だった。当時、柔道の経験のある先生が転勤してきて柔道部を作ってくれた時は、憧れの柔道ができるようになるかと涙が出るほど嬉しかった。古本屋で柔道の教本を買ってきて覚えた技が「矢倉落とし」という膝を着いた体落としのような技で最近の本にも出ていないような技だった。

58歳になった今、稽古は週3回で、火曜日と木曜日は千代田区の体育館で、土曜日は寝技研究会で若い人達との稽古が続いている。立ち技で一番の得意技は膝車で、乱取り

では日本代表になった現役選手何人かも投げたことがある。乱取りでも一番使う頻度が高い技だ。もう一つの得意技は足車で、タイミングが決まると面白いように相手を回転させることができる。しかし、何れの技も試合では殆ど使えたことがなく、得意技で試合に勝てるようになることが私の夢の一つである。

寝技は歳を重ねるに連れ稽古時間が増えてきて、最近では稽古の半分の時間は寝技だ。寝技の良い所は、怪我が少なく、立ち技ほどスピードや筋力を要さないからか、若い人とやってもさほどハンディを感じない。私が参加している寝技研究会は週一回だが、寝技だけで3時間の稽古をしている。

こんな自分より柔道が好きで人間性が高いのではないかと思っていたが、日本マスターズ柔道大会に参加すると、それが大きな間違いであることに気付かせてくれる。懇親会に参加すると、自分と同じように柔道が好きな仲間が日本中にいるという実感がひしひしと湧いてくる。

マスターズを冠したスポーツ大会は、他の競技では幾つかの大会が開催されていたが、柔道でもマスターズ大会があればと願っていた。日本マスターズ柔道大会に先駆けて世界マスターズが開催されるというニュースを聞いた時には、自分が長年望んでいたことが実現すると喜んだ。優勝するぞと決意し、その為には減量でも禁煙でも多少の犠牲は払ってでも金メダルが欲しいと思っていた。しかし、開催半年前の稽古中アキレス腱を断裂し夢は実現できなかった。

その後、第一回日本マスターズ大会が静岡県で開催されると聞き、これでやっとチャンスが到来したと勇んで参加した。当時私は55歳でM6クラスでは最年少であつたこともあり優勝の確率は高いと思いがついていた。しかし、最初の試合で一本負けし、長年の夢が儚く消え、この時ほど落ち込んだことはなかった。同時に、日本には強い人が沢山いることをこれほど実感させられたこともなかった。

第二回目は埼玉県で開催されることから、関東圏から参加人数も多く、第一回目の時の経験から自信よりは不安の

多い気分での参加だったが、運良く優勝でき、続く第三回、第四回と3年連続して体重別で優勝することが出来た。無差別では第三回大会で優勝できたので、今年も連覇を目標としていたが、残念ながら決勝で敗れた。体重別で3年連続して優勝できたことは嬉しかったが、無差別で優勝を逃したことの悔しさが、試合が終わった後一ヶ月が過ぎてもフラッシュバックのように思い出された。この悔しさがある限り、まだまだ柔道が楽しめると思うている。

勝負に対する男のロマン

ト部 秀幸
(愛知県 理事)



私のマスターズ大会との出会いは世界マスターズ大会が2004年東京講道館で開催された時でした。せっかく日本での開催なので出場してみようかと軽い気持ちでした。全国高段者大会では、11年連続出場し10勝1引き分けと負け無

しで、少しは自信を抱え参加しました。しかし3位とゆう成績にショックでした。その後第一回日本マスターズ大会が静岡で開催。出場を決意。なんとか優勝することが出来ホットしたと思います。

大会出場を重ねる毎に私はこれぞ生涯柔道の醍醐味と感じました。年齢30歳以上で5歳さざみの体重別・無差別・形部門とがちな勝負。高段者大会では見ることの出来ない年配の身体をはった勝負に対する執念が見受けられるのは、マスターズならではや無いかと感じます。しかし試合後はお互いをたたえ合い親睦を深め和やかなムード多くの先生方との懇親会では、子供達の指導方法体力の維持・体調管理等話しは尽きません。私も小学生から大学・一般と指導していますが小学生からも多くの事を学びます。またマスターズ大会に望む姿勢を見せることにより子供達・一般の選手に何時までも「柔道に携わって欲しいと思います。最後にご年配の方々我真剣に勝負される姿を拝見してより一層エネルギーを頂きます逆に後輩に少しでもエネルギー

を与えることが出来ればと大会に出場しています。現在まで大会に出場できている自分は幸せだなあと感じます。今後とも体力の続く限り柔道に携わって日本マスターズ大会が益々盛大になるよう協力して行きたいです。

姫路マスターズ大会で・・・

松本 淳
(滋賀県 理事)

一回戦、二回戦と共にアットというまの一本でしたが三回戦では少し時間がかかりヤバイ：と思いつつも何とか一本でア：ヤッタバンザイこれがあの時の自分の本当の胸の内でした。



上尾、岡山、そして今回の姫路での大会で念願の三連勝が出来た事は柔道を始めて初めての事なので大変嬉しく思っております。本当にありがとうございます。日頃からお世話になっております諸先生方々に心から感謝いたします。六才の頃からこの道を歩み始めて家族(母)の前で金メダ

ルをいただけた事は恩返しが少し出来た？ような気もします。期待と不安のなか十日位前から、退社後夜間体力作りにと汗を流し走ったかいには有ったんだ、と感じた一瞬でもありました。

こうしてマスターズ大会へ出場させていただける様になったのは野口会長さん始め諸先生方達のおかげです。特に片桐先生の後押しとお言葉無くしては今日の自分はなかったと思います。と言いますのも一回目の申込書は手元に届いてはおりましたが、何んせ国籍のちがう自分はダメだろうと一人あきらめており(今思うと残念です)、

二回目の申込書を片桐先生から手渡され、その時思い切つてたずねてみたのです。その時の先生のお言葉は国籍は関係無く三十才を過ぎていれば誰でも参加出来るとの言葉をいただきました。聞いてみて良かったです。あの時はものすごく嬉しかった、これで自分もマスターズ大会に出場出来るんだと胸をはずませた一瞬

でした。片桐先生ほんとうにありがとうございました。

六才から始めた柔道ですが色々な事が有りました。それは、育った所が日系人が少なくこの道場へ行っても日本人は一人だけ、何時も目立っていて良い時よりもイヤな思いの方が多かったように思います。南大河洲(ポ語ではリオグランデスール)。ブラジルでは日本人が一番少ない洲です。子供の頃は五人家族で家の内ではおもに日本語、一歩外に出るとやはりポルトガル語ですが、其のおかげか自分にとっては来日後言葉の不便さはあまり感じなかったように思います。

十八才で黒帯を取得し、十九才の時一年間軍隊生活をしてまいりました。自分は一年遅れで入隊しましたが、ブラジルでは普通十八才で男子は入隊する義務があり、一年間は軍隊で色々な訓練を受けるのですが、柔道をやっていてのおかげで軍隊内でもずいぶん可愛がられ、陸軍の柔道部から代表者の一人として大会へも参加させてもらいました。

に励んでおりましたが家族と遠くはなれ一人暮らしを始めると仲間思い様にかずホームシックにもなりかけ、た時にフット思ひ出したのが柔道。そう自分には柔道があるんだと思ひそれから通ひ始め。今では柔道なくては過せない位になっております。これから出来るかぎり練習に仕事にと励みながらなるべく色々な所で諸先生方とお逢い出来るよう頑張っております。

秋田大会へのお誘い

秋田県柔道連盟理事
今立 孜



来年度、第五回日本マスターズ柔道大会は秋田県において開催されます。期日は平成二十年十月十七日(金)から十九日(日)までの三日間。会場は、今年十月初旬に秋田わか杉国体柔道競技の熱戦が展開された秋田県立武道館です。秋田県の柔道界の状況を紹介します。先頃の国体では悲願の成年男女の優勝、少年女子の5位、そして女子の総合優勝という成績を残すことができた、関係者一同喜びに沸いたところですが、全国大会では大きな財産を残した本県ですので、来年度のマスターズ大会の運営に大いに生かしたいと思っています。が、本大会は東北地区でも初めてであり、これまでに参加した経験がある人は数えるほどしかないことなどから柔道関係者にはとまどいもありますが、やる以上は

ますので今後共どうぞよろしくご指導のほどお願いいたします。

第四回大会を振り返って

三谷健、玲子
(神奈川県 理事)

第四回日本マスターズ柔道姫路大会に、夫婦で参加させていただきありがとうございます。

私の妻は32歳から柔道をお供達と一緒に始めました。初

めは、子供達ほどに柔道をすることに對して乗り気ではありませんが、始めてみると家族の誰よりも熱心に柔道に取り組んでいます。一年もしないうちに初段にもなりました。



夫婦で参加させていたのは昨年の岡山大会からです。

参加される皆様に喜んで頂ける大会にしたいという意気込みをもって準備に取りかかっています。

秋田は、なにより第1回世界柔道チャンピオン夏井昇吉(故人)を生んだ土地です。最近、故人を記念して本が出版されました。秋田に出での節には是非お買い求めください。

最後になりますが、兵庫大会で本県を代表して今立篤子女子六段が「おらも行きたや」男鹿島めぐり／八郎瀧をば右に見て／白神山地の櫓の森／行けばくま

げら待っている」と歌ったそうですが、地元では本物の民謡が聞けます。皆様のご来県を心よりお待ちしております。



大会中日夜パーティ席上 大会旗が今立当協会理事(孜氏令夫人)へ

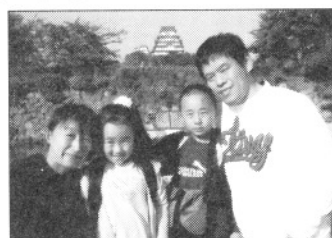
今年、私はM1・100kgで参加いたしました。結果は3位でした。対戦した中野選手は以前、嘉納治五郎杯国際柔道大会(1994年)78kg以下級で優勝をしている有名選手です。日本を代表する選手と試合が出来たことも良かったですし、マスターズ大会だからこそ対戦できたんだと思います。

妻は今回同階級の参加者がいなかったため、金メダルをもらいました。昨年に続き2連覇を達成しました、と言っても試合はしていませんが、最終日に妻は「湘南レディース」というチームで女子団体戦に出場しました。私もたま

にお誘いを受け、丸の内柔道倶楽部Bチームで団体戦に出場させていただきました。ちょうど、私の試合と同時に横の試合場で妻が試合を同時にしていました。お互い一本勝ちができた試合で、試合場で目で「ヤッターネ!」と通じて今までの柔道生活では味わえない?違った?楽しい?体験ができ、とても記念に残る大会になりました。

この日本マスターズ大会に

私は第一回から参加させていただいたのですね。その際いつも子供達や同じ道場である神奈川県寒川柔友会のみなさんと一緒にきており、年に一度の家族旅行も兼ねての参加です。



また、夫婦で多少の「減量」も同時に経験しています。私達夫婦の間では、マスターズ大会に参加するのは普段の暴飲暴食も防げるとても健康にも良い大会でもあり、我家ではなくてはならない大会になっております。

来年の第五回秋田大会への参加も家族で楽しみにしています。

【編集後記】 今回の姫路もさまざまな感動と感謝にあふれた大会であったことが、お便りから良く分かります。また、次回の開催地秋田からお誘いの玉稿をいただけたのは何よりでした(KN)

(題字は野口会長の揮毫です)